

1級 実技（面接）試験実施概要

実技（面接）試験は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ …… 30分

口頭試問 …… 10分

2. 受検者は、民間の相談機関等において、キャリアコンサルティングの実践を行いながら、キャリアコンサルタントに対して事例指導の役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。

事例指導とは、相談者へのよりよい支援と、事例相談者のキャリアコンサルタントとしての成長を目的に、事例相談者の担当する事例を通して指導を行うものです。具体的には、相談者に対する面談過程、事例の見立てや対応の方針、組織への働きかけ、リファーマーやコンサルテーション、事例相談者に不足する態度、役割意識、知識やスキル等について、気づきを促し情報提供や助言を行うことです。

3. 事例は、裏面に示す3ケースのうち1ケースが出題されます。

4. 事例相談者（キャリアコンサルタントの役割）は試験係員が行います。

5. 最初に受検者（事例指導者）から自己紹介（ご自身の専門領域や理論的な立場などについて1分程度で説明）し、事例相談者に対し事例内容についての説明を求めてください。その後の事例指導の進め方は自由ですが、事例相談者との間に教育指導関係を築き、事例を通して事例相談者の問題を把握し、事例相談者への育成的な目標を設定するなど、具体的な指導を行うよう心がけてください。

6. 受検室にボールペンとメモ用紙を1枚準備します。受検中は自由に使用可能です。なお、ボールペン、メモ用紙は一切持ち出しできません。

7. ロールプレイ後、口頭試問を行います。

口頭試問の例：

① 今回のロールプレイを振り返って、ご自分の良かった点、改善したい点は何ですか。

② この事例相談者の事例の進め方の問題は何でしょうか。

③ 事例相談者の問題を事例相談者と共有するためにどのような働きかけをしましたか。

8. 合格基準は100点満点で60点以上の得点です。評価区分は基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力の4区分です。なお、評価区分ごとに満点の60%以上の得点（所要点）が必要です。

9. 厳正な採点を行うため、面接試験内容を録音します。受検者は受検に際し、資料等の持ち込み、録音は一切できません。なお、録音をしていた場合は失格となります。

【1級 第9回 実技（面接）試験 ロールプレイケース内容】

ロールプレイは、事例相談者と受検者（事例指導者）のみで行います。相談者に関することはロールプレイの中で、事例相談者に説明を求めてください。

ケース1

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Aさん、男性（25歳）

相談者が相談したこと：総合不動産会社に入社し3年経過したが、今の仕事に面白みが感じられず、最近モチベーションが低下している。このままではいけないと思い、働きながら大学院で学ぼうと受験したが、結果は不合格だった。将来は地元に戻ろうと思っていたため、いっそ今のうちにUターンして転職したほうがよいのではと考え始めたが、迷っている。今後の方向性を整理したく、相談にきた。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：まずは現状に対するAさんの気持ちを共感的に受け止めた。学びに対する姿勢は大切なので、大学院への希望にも理解を示し、あきらめないで頑張してほしいと励ました。また、Uターンをする場合、地元での仕事は少なく転職は大変だろうと伝えるとともに、今の会社に留まっても、様々な経験ができるのではと提案したのだが、納得はしていない様子であった。Aさんの気持ちを最優先に考え対応したつもりだったが、今後どのように支援していけばよいか、指導を受けたい。

ケース2

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Bさん、女性（27歳）

相談者が相談したこと：4年間勤めた会社を2カ月前に退社した。現在、求職活動中であるが、2社から採用の返事をもらい、どちらを選んだらよいか迷っている。次の会社でも、今までの経験を生かして自分に合った仕事をやっていきたいと考えているが、条件面はいずれも変わらないし、どのように決めていけばいいのかわからないため、相談したい。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：Bさんのこれまでのキャリアや年齢を考えると、この機に長期的視点からじっくり就職先を選択した方がよいと感じたが、両社への返事まで時間がないことから、「自分に合った仕事をやっていきたい」というBさんの考えを重視して話を進めた。しかし、こちらからの提案や助言に対して納得は得られていないように感じられ、翌日再度面談すると約束したものの、来訪はなかった。Bさんには、どのような支援が必要だったのか、指導を受けたい。

ケース3

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Cさん、（24歳）私立大学理工学部修士課程2年生 相談時期：8月

相談者が相談したこと：SNSプロモーションに興味があり、就職は大手の情報通信会社を希望している。指導教授には、そのことを伝えているので教授推薦を待っていたが、何の話もなかった。博士課程に行くことは考えていないので、何とか希望の企業に就職したいのだが、この先どうしたらいいのかわからないため、相談したい。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：困惑する気持ちを受け止めて、まずは安心して話ができるように努めた。目標を持って大学に進学し一生懸命勉強してきたCさんを励まし、気持ちを切り替えて、もう一度就職活動に取り組んでもらいたいと伝えたくて、二次募集の企業を検討することなど、自分なりに提案したつもりだったが、その後の来談はなかった。何がいけなかったのか、指導を受けたい。

以上